

さまざまな要因で学校に通えなくなつた児童生徒を受け入れてきた。それに加えて新たな支援方法を検討。その中で、子供たちの睡眠のとり方や生活習慣から見直してはどうかという意見が出されたということで、町の教育委員会でさまざまな点から分析し、そして教育委員会で出した結論は、兵庫県立リハビリテーション中央病院の子どもの睡眠と発達医療センター長で小児科医の三池輝久先生に依頼し、児童生徒の生活习惯の改善を促す取り組みとして眠育（睡眠教育）を実施することにしました。この取り組みについてどのように思われますか。



危険と思われる場所

A 教育長 睡眠教育については、脳科学の上から解説されているようですね。近く合同講演会で脳科学に関する講演がありますが、そういう面からも、学校においても、それから幼いお子さんをお持ちの保護者の方々についても、单なる睡

眠ということではなく、脳科学の上から解説されたり、幼稚園、そして家庭の教育を通じて保護者にも慣ら見直してはどうかという意見が出されたということです。

これは、学校現場はもとより、幼稚園、そして家庭の教育を通じて保護者にも慣ら見直してはどうかという意見が出されたと訴えていくつもりであります。

●環境問題について

Q 竹林の放置状態は目に余るものがあります。手入れされなくなります。手入れされなくなりた竹林は急速に拡大し、太陽光を遮り、森林機能を奪い、単に農林業の問題にとどまらず、防災や地球環境にまで悪影響を及ぼしていることがわかつております。市の対策をお聞きします。

A 経済環境部長 前からあるさと雇用再生特別基金事業を活用して、ゆたかな森林資源再生事業に取り組んでいます。その中で、日向の森を実証林として、間伐、あるいは間伐材の搬出等に関する実証試験をしています。また、緑の募金の公募事業で今まで携わってきた市民の方、あるいは企業の方がNPOを作り、元気森守（もりもり）隊という名称で副業型林業によるさんむ木の駅プロジェクトという事業展開を考えています。



市川 陽子 議員

Q 具体的な対策はいかがでしょうか。 あるいは市の助成等を活用し推進しています。森林整備の推進によって解消できると考えています。

A 市長 千葉大学の方でそういうお話を持ってきていました。現在市を挙げて森林の整備について、国、県があるいは市の助成等を活用して、どうも早い段階で、こういったことを守っていくことが市民の幸せにつながると思っています。しっかりととした取り組みを目指していきたい。

●個人質問

Q 防災について 震災より半年が過ぎました。今後の防災計画の見直しについて伺います。

A 総務部長 として、教訓が2年、3年たつと、大丈夫といふ判断に変わっていくので、対応を怠らないようにします。

Q 政府無線自動音声対応 サービスの、防災無線お知らせダイヤル啓発用ステッカーの配布について伺います。

A 総務部長 防災への意識啓発として、十分に参考にします。

Q 市の防災訓練等の実施について伺います。

A 総務部長 津波を想定する避難訓練も含め、消防団の方々と相談

動ができる体制となる災害協定の状況について伺います。



元禄大津波供養塚 (松ヶ谷にある千人塚)

A 総務部長 医師会、民間の会社千葉県のレクリエーション都市開発、マリーノ、山武市建設業災害対策協力会等、全部で11の機関や企業、団体と結んでいます。

●期間について伺います。

Q 獣医師会による協定について伺います。

A 総務部長 既に合同防災訓練等の中に入っているので今後、獣医師会の方々と協力を考えています。

Q 緊急時の、防災行動について伺います。

A 総務部長 防災訓練等の中に入っているので今後、獣医

Q 千葉大との連携で環境問題を扱う研究所のような機関を設けてはどうでしょうか。

所長 千葉大との連携で環境問題を扱う研究所のような機関を設けてはどうでしょうか。

Q 災害発生時に迅速な災害復興・復旧活動を考えております。

A 総務部長 防災への意識啓発として、十分に参考にします。

Q 市の防災訓練等の実施について伺います。

A 総務部長 津波を想定する避難訓練も含め、消防団の方々と相談